

管内医療機関の 今後の役割について

令和5年（2023年）7月 熊本県医療政策課

協議事項の概要

①熊本機能病院

直近の病床機能報告内容

病床機能	病床数		
	【参考】 コロナ前 (2019.7.1)	基準日 (2022.7.1)	基準日後 (2025.7.1)
高度 急性期	0	0	0
急性期	176	138	<u>138</u>
回復期	219	257	<u>257</u>
慢性期	0	0	0
休床等	0	0	0
合計	395	395	395

次回の病床機能報告内容（予定）

病床機能	病床数	
	基準日 (2023.7.1)	基準日後 (2025.7.1)
高度 急性期	0	0
急性期	138	<u>171</u>
回復期	257	<u>224</u>
慢性期	0	0
休床等	0	0
合計	395	395

協議のポイント

- 【熊本機能病院】 回復期 → 急性期
- 熊本・上益城地域において、急性期病床は過剰。
- 別添申出書のとおり、令和5年8月1日より障害者施設等入院基本料（回復期）を算定している33床を一般病棟入院基本料（急性期）への変更する旨申し出があったもの。

以上の点を踏まえ、地域にとって必要であるか協議が必要。